

## Try! プログラミング

研修センターでの希望研修「小学校段階におけるプログラミング教育研修講座」後に、受講者の先生が勤務校でプログラミング教育に取り組んだ様子を紹介します。

第4学年算数「しきつめ」の学習で、「しきつめて大きな平行四辺形を作るにはどうしたらいいかな?」という課題を設定して行った。色々な大きさの平行四辺形をしきつめて、大きな平行四辺形ができるかを考えさせた。結果、児童は「①等しい辺の長さ」と「②等しい角の大きさ」がポイントだと気が付いた。そこで、条件として何が必要かを全員で考えた。児童からは「同じ大きさ」「同じ形」と意見が出て、それをもとにフローチャートを作り、「同じ大きさ」「同じ形」の平行四辺形をしきつめ完成した。考えの筋道をフローチャートの形で書いていくことで、児童も順序立てて分かりやすく考えていくことの大切さを少し分かったようである。「楽しかった・分かった」という感想もみられた。論理的思考を育むための思考の可視化は、普段から各教科で行っていくことができると実感した。今後も、チャレンジしていきたいと思う。

